



8月3日(火)、本年度のKES環境マネジメントシステムの審査があり無事終了しました。今回も指摘事項、観察事項はなく、マイナス評価もありませんでした。特にエコキャップ回収、美化活動の実施など全員で取り組んでいる姿勢が評価されました。環境活動は、地球温暖化のように大きな問題とされていますが、私たちができる事を、地道に努力しているか確認されているわけです。そのための社員インタビューですが、今回はコロナ禍ということもあり実施されませんでした。リハーサルをしていただいた部署もあるようで、ありがとうございました。今回はありませんでしたが、次回は聞き取り調査があると思います。今回の練習はその時、生かされますので、よろしくお願いします。

廃棄物アンケート調査ご協力ありがとうございました

「一般廃棄物の減量に関するアンケート」ご協力ありがとうございました。皆様のおかげでトータル45枚回収できました。こちらの期待通り、各サイトで傾向が異なり、廃棄物削減に向けた、生のデータとして活用します。ご意見の内容は、分別を徹底してリサイクルにつなげる意見が多く寄せられました。廃棄物の中身を良く分析して、もう一度使用する、リユースの方法無いかなど、環境会議で検討していきます。中には大変手厳しい意見もありました。「ごみを捨てさせない。」「ごみは持ち帰らせる。」といったハードな意見でしたが、聞いてみると、既に実施している企業もあるようです。皆さんの意見で廃棄物が少しでも減るように、これからもご意見をお願いします。

ステープル付きのダンボールを処分するには？

ダンボールの中には、四隅をしっかりとステープルで固定したものがあります。このダンボールをリサイクル品として処分するときは、取り除く必要があるか質問がありました。結論から言えば、そのままの状態を出してください。除去するときは、工具を使って処理しています。工具を使わずに手で除去作業をすると、ケガをする可能性があります。また、ステープルをつけたまま廃棄すると、取り扱い時、手を切る恐れがあります。工具といっても、使い古したニッパーですが確実に除去できます。安全のため、環境のためにも、禁忌品を少しでも取り除いて、リサイクルすることを心がけたいと思います。

気象変動の緩和について 第4回「熱中症は環境問題」

熱中症は夏になると必ず出てくる危険信号です。熱中症警戒アラートが既に茨城県でも幾度となく発令されています。熱中症は明らかに病気の種類で、厚労省がアラートを発令していると思われていますが、実は、環境省が発令しています。つまり、熱中症は環境問題ととらえられているからです。右のグラフのように、1990年代に比べ、2018年には、死者が1,500人を越え、15倍に増加したことになります。階段状に、夏の気温が変化しているとは言え、無視できない状況です。個人の力では変えられませんが、涼しく過ごす方法はあるはずです。緑のカーテンもいい方法です。暑い夏を工夫して乗り切りましょう。

最高責任者のコメント ～ 照明LED化最終段階 ～

電気使用量削減目標に、Nサイトが加わり、全体の使用量は増加している。少しでも使用量低減目指し組立工場の照明をLEDに変更した。担当者の評価によれば、3～4割程度削減につながっていると報告があった。本社工場では、蛍光灯が使用されて場所が数ヶ所あったが、すべてLEDに交換した。ただ、電気使用量の決め手は、社員一人一人の地道な節電活動が重要。引き続き協力願う。

今月の環境目標進捗状況

今月の環境目標は、電気使用量7月分
超過しましたが、累計で達成し
全体で達成できました！



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量削減(kwh)	24,417	25,842	X	92,336	76,504	121%	↑
一般廃棄物減量(件数)	1	1	達成	2	2	100%	↑
エコキャップ回収(個数)	1,289	1,303	達成	5,180	5,353	103%	↑
美化活動実施(回数)	1	1	達成	1	1	100%	↑
環境教育実行(回数)		—			—		

